

Ⅲ 取組概要

～未来へ向かう探究のキセキ～

1 総合的な探究の時間「未来探究」(1学年)

(1) 未病

ア 目的

- ・ 問題の発見、考察、分析、検証を通して論理的思考力を身に付けたり、グループでの活動を通してチームワークやコミュニケーション力を身に付ける。
- ・ 教科の枠を超えて、生徒が社会に出てから必要とされる力や経験を養う。未病とは何かを理解するとともに、未病改善という概念を社会に普及させるために必要な要素を検討し、有効な情報発信媒体を作成し、プレゼンテーションを通して魅力的に他者に伝えることができるようになる。

イ 対象生徒

1学年 175名

ウ 活動内容

a 1、2時間目

1時間目には、プレゼンテーションソフトを用いて、未病の授業の流れや、未病に関して基礎知識を学んだ。また、ワークシートを用いて、最近、自分の気になっていること(健康面・食生活・精神面)などについて考えさせ、2時間目には自分が興味・関心を持った分野を選び、課題の設定をした。

b 3～6時間目

各自で設定した課題をグループに持ち寄り、その中から一つを選びグループの課題とした。図書館やインターネットを利用して、テーマについて情報収集をした。未病改善を社会に普及するための媒体として動画を撮影、編集したり、絵本を作ったりなど発表に向けて活動した。

c 7、8時間目

1グループあたり【準備1分⇒発表8分⇒質疑応答1分】計10分で発表を行った。7時間目は教員の前で発表を行い、自分たちの班の発表における改善点を考えた。8時間目は他の生徒に向けて発表を行った。各生徒は評価・コメントシートを活用し、他のグループの評価とコメントを記入した。発表終了後、評価・コメントシートを回収し、発表したグループに示すことで、自分たちの発表をより客観的に評価し、改善する検討材料とした。

【授業で使用したスライド】

未病学習

～未病ではどんなことをするのか？～

「未病」学習の目標

- ・ 「未病」について理解する。
- ・ さまざまな媒体(手段)を用いて未病改善という「概念」を広めることができるようになる。

「未病」学習の日程

(本日)

1時間目...「未病」について理解する

2時間目... 個人でテーマを決め未病について調べる

「未病」学習の日程

3～6時間目...グループで未病を普及させるための媒体を考える

7～8時間目...発表&フィードバック(振り返り)

発表形式

- ・プレゼンテーション形式
- ・1グループ10分
準備1分、**発表8分**、質疑応答1分
- ・未病という概念を広げるために何ができるかを具体的に講じる。

ワーク1に取り組んでみよう

未病学習 ～未病とは～

なぜ「未病」という考えが生まれたのか

○2025年問題

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に。
高齢化率が30.3%

なぜ「未病」という考えが生まれたのか

現在の社会システムのままでは
医療や介護などの制度が**崩壊の危機に陥る!!**

2025年問題

なぜ「未病」という考えが生まれたのか

このような問題を解決し持続可能な社会を維持していくためのキーワード
「未病」

未病のイメージ



未病とは

「健康か病気か」の2つの領域で捉えるのではなく、「健康」と「病気」の間で**連続的かつ可逆的に変化するもの**と捉え、すべての変化の過程を表す概念

未病とは

「予防」を意味するだけではない。
感染症予防や生活習慣予防の他にも
その前段の積極的な運動・食生活・休養
などの健康増進。
楽しく生きるための工夫や魅力的にあり
続けるための努力など健康生活に関わるもの
も含まれる。

「未病」を改善する3つの取り組み



未病コンセプト

「自分がどう生きていきたいのか」
という発想が原点となる。

ワーク2に取り組んでみよう。

発表の課題

どのような「媒体」を用いて「未病改善」
という概念を広めることが出来るかをプレ
ゼンテーション形式で発表してみよう！

未病改善



例えば...

「絵本」という媒体



「体操」という媒体



最後は
プレゼンテーション形式で発表する。



【活動の様子】



【生徒の作成した絵本】



もしもそんな友達が自分の近くにいたとき、君はどうする？
優しくさで言った言葉でも友達は傷ついているかもしれない。



この機会に自分達は何か出来るか一緒に考えてみよう！

心の病気にはたくさんの種類があるの。
例えばね、

神経症性障害	パニック障害・恐怖症・PTSD
統合失調症	幻聴や妄想がおこる
うつ病	不安・イライラ感・不眠
依存性	アルコール・薬物・ギャンブルにのめり込む



まずは、家族や周りの人が病気を受け入れる事が大切！



病気を受け入れずに、オットと否定して無視し続けたら本人は心も体もぼろぼろになっちゃうの。



それを防ぐには、心の病気になってしまった本人の事を理解してあげよう！

もう1つは、安心出来る環境を作る事！



心の病気にかかると、臨機応変に対応するのが難しくなって、ずっと緊張状態が続いてしまうの。だから、休む事が出来なくなっちゃうんだ。

あと、友達と病気を分けて考えてあげることも大切！



本人は病気のせいでもうなってると分かってる部分の2つをもって来んだ。だから、全部が悪い訳じゃないんだよ。それは本人の一部にしか過ぎないんだ。

その原因は3つあるんだ。



1つ、遺伝的な要因



2つ、心理的な要因



3つ、環境的要因

多くははじめ、人間関係・家族関係・ストレスで発症するの。

心の病気はたくさんの種類・症状があったよね




もし君が心の病気にかかってしまったら悲しくないで、自分を責めず、無理をしないでほしいの。自分を受け入れて、ときにはみんなを頼って欲しいな。

また、周りのお友達も心の病気にかかってしまった時は、お友達を理解して見守ってあげてね。私たちに出来る事はたくさんあるから意気込みを添ってあげてほしいな。

【生徒の作成した動画】

地球温暖化により、現在でも、様々な問題が出ていますが、温室効果ガスの影響による、熱中症は、とても危険です。
あなたの行動が未来に繋がります。



さあ、あなたは
どうする？

STOP温暖化





エ 成果及び評価

a 生徒の取組について

授業時数が計8時間という短い時間数の中で、すべてのグループが未病改善を社会に普及する媒体を作成し、同時に発表用のプレゼンテーションを作成し、発表をすることができた。また、LINE や google form などを用いてアンケートの実施や自分たちで動画を撮影し編集を行うなど、教員の後押しが無くても主体的に活動する生徒の姿が見られた。

b 授業の企画について

授業の大筋は昨年度1学年の指導計画を踏襲するような形で行った為、教材作成等の負担を減らすことができた。

オ 今後の課題

本年度の1学年の課題は生徒の論理的思考力を育むことである。1学期の段階で、生徒に発表のノウハウに沿って好きなテーマでプレゼンテーションを行わせた。結果として2学期の未病の発表ではほぼすべてのグループが聴き手を意識し、体裁を整えたスライドを作成することが出来た。一方で、自分たちの伝えたいことを論理的に組み立て、説得力のあるプレゼンテーションを行うところまで意識を高めて取り組むことができたグループは少なかった。来年度以降は、探究のサイクル（課題の設定・情報の収集・整理・分析・まとめ・表現・振り返り）を生徒に理解させていく必要がある。

(2) 防災

ア 目的

防災の基礎知識を身に付け、グループ活動を通して防災の課題を分析、考察、検証して解決する能力を養う。

イ 対象生徒

1 学年 175 名

ウ 活動内容

a 1、2 時間目

1 時間目にスライドを用いて「防災の基礎知識」について学んだ。「ワークシート」に記入しながら、災害の種類や日本で起きた自然災害の歴史を学習し、防災について個人で考えた。2 時間目には各グループで防災について興味・関心を持った分野を選び、テーマを決め、課題を設定した。

【授業で使用したスライド】



1 災害 (disaster)

(1) 災 害 …… 地震・台風などの自然現象や事故・火事などによって人間が影響を受ける事態。

(2) 災害の種類 …… ①自然災害、②人為災害、③特殊災害

① 自然災害
どのような自然災害があるのか挙げてみよう。
→ 【ワーク1】 3分 ※できるだけ多く!!

② 人為災害
例：交通事故、火災、大気汚染、管理ミス、労働災害など

③ 特殊災害 (化学物質の漏洩など自然現象以外が要因)
例：化学兵器・生物兵器によるテロ、原子力事故など

① 自然災害

例：地震、暴風、豪雨、洪水、津波、噴火、土砂崩れ、地すべり、吹雪、雪崩、落雷、冷夏、暖冬、疫病、ウイルスなど

2 日本の自然災害の歴史

① 1923年 9月 1日	関東大震災
② 1995年 1月17日	阪神・淡路大震災
③ 2011年 3月11日	東日本大震災
④ 2019年 10月6日～13日	令和元年東日本台風

① 1923年 9月 1日 関東大震災

災害の種類：地震災害

死者・行方不明者：10万5千人

主な被害：建物全壊10万9千棟、建物全焼21万2千棟、死者の多くは焼死、火災、地盤沈下、崖崩れ、津波



② 1995年 1月17日 阪神・淡路大震災

災害の種類：地震災害

死者：6,434人
行方不明者：3人
負傷者：43,792人

主な被害：建物全壊104,906棟、
建物半壊144,274棟、
建物全焼 7,036棟、
建物半焼 96棟



② 1995年 1月17日 阪神・淡路大震災

主な被害：死者の多くは**圧死**
建物倒壊、火災、
地すべり

※冬の早朝に発生した地震のため、
ほとんどの人が就寝中に自宅で亡
くなった。



③ 2011年 3月11日 東日本大震災

災害の種類：地震災害

死者：15,899人
行方不明者：2,526人
負傷者：6,157人

主な被害：
建物の全壊・流出・半壊404,893戸
浸水面積561平方キロメートル



③ 2011年 3月11日 東日本大震災

主な被害：死者の多くは**溺死**、
巨大津波、**地盤沈下**、
液化現象

※震災関連死
避難所の不衛生さや寒さなどが
原因で、避難後に亡くなる方が
3,767人いた。(高齢者が多い)



④ 2019年 10月6日～13日 令和元年東日本台風

災害の種類：台風による災害

死者：105人
行方不明者：3人
負傷者：375人

主な被害：死者の多くは**土砂崩れ**
による**窒息死・圧死等**、
洪水、土砂崩れ



3 防災と減災

- ① 防災・・・災害を未然に防いだり、災害による被害を防いだり
するための備え。
(災害の被害をゼロに近づける備え)
- ② 減災・・・被害を完全に防ぐことは不可能であるため、その被害
をできるだけ小さくするための備え。
(災害の被害を最小限に抑える備え)

防災・減災の基本理念

・・・ ①自助、 ②共助、 ③公助

- ①自助・・・自分の命は自分で守ること。
- ②共助・・・地域や職場、学校などのコミュニティ
の人たちが協力して助け合うこと。
- ③公助・・・市町村や消防、県や警察、自衛隊と
いった公的機関による救助と援助。

自助、共助、公助の例を挙げてみよう。
→ 【ワーク2】5分 ※できるだけ多く!!

防災・減災の基本理念

・・・ ①自助、 ②共助、 ③公助

①自助の例

- ・避難経路を確認する。
- ・水、食料の備蓄。
- ・日用品（ライト、電池、トイレトペーパー等）の備蓄。
- ・家具が転倒しないように固定しておく。
- ・家族で集合場所を決めておく。
- ・災害用トイレの準備。

防災・減災の基本理念

・・・ ①自助、 ②共助、 ③公助

②共助の例

- ・日ごろからコミュニケーションをとる。
- ・防災訓練の実施。
- ・ハザードマップの作成。
- ・公民館や学校の倉庫等に食料、水、日用品を備蓄。

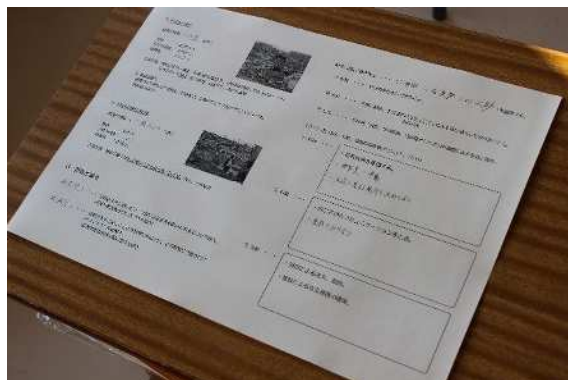
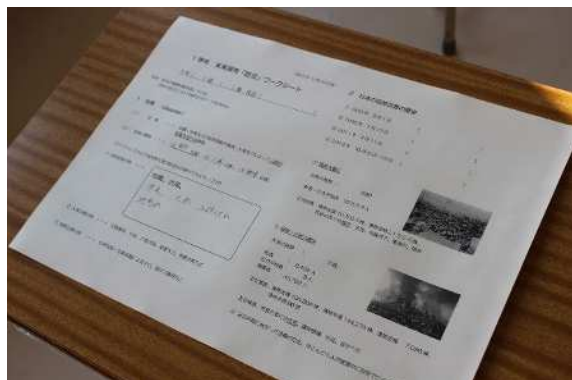
防災・減災の基本理念

・・・ ①自助、 ②共助、 ③公助

③公助の例

- ・消防による消火、救助。
- ・警察による安全通路の確保。
- ・自衛隊による復興支援。
- ・国、県、市町村による仮設住宅の建設。

【ワークシート】



b 3～6時間目

各グループで設定したテーマについて、図書館やインターネットを活用して情報を収集し、わかりやすく発表するためのスライドの作成と発表練習を行った。

【活動の様子】



c 7、8時間目

1グループあたり【準備1分⇒発表8分⇒質疑応答1分】計10分で発表を行った。各生徒は評価・コメントシートを活用し、発表したグループの評価とコメントを記入した。発表終了後、評価・コメントシートを回収し、発表したグループに示すことで、自分たちの発表をより客観的に評価し改善する検討材料とした。

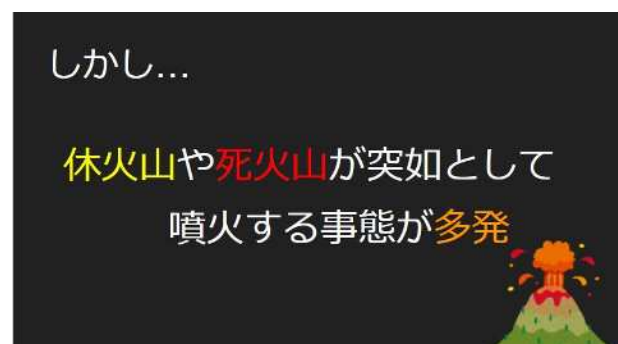
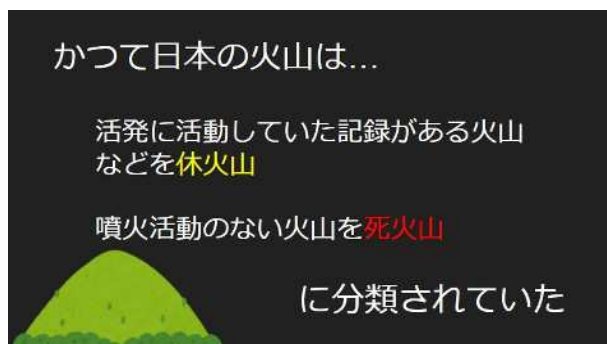
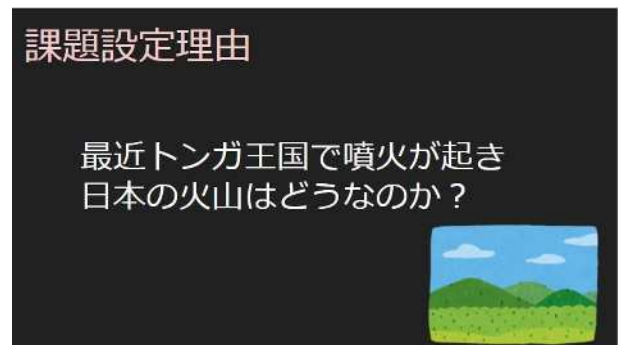
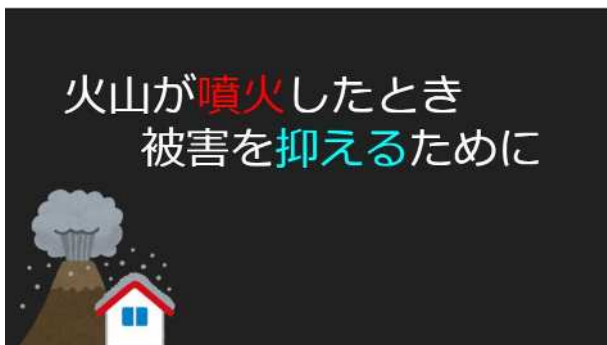
【探究タイトル一覧】

クラス	グループ	探究タイトル
1組	1班	山北町の避難所の設備について
1組	2班	防災グッズ!
1組	3班	私たちにできる地震対策
1組	4班	身の回りで出来る災害対策 ～いざ 災害 防災キット きつといる～
1組	5班	災害に対して私が事前出来る事と身の守り方
1組	6班	土砂くずれによる被害と対策
1組	7班	災害がおきたときどうすればよいか?
2組	1班	台風のでき方とその対策
2組	2班	地震
2組	3班	大気汚染による災害とその防災
2組	4班	日本と海外の災害時の対応の比較
2組	5班	地震への対策 ～山北町でできること～
2組	6班	災害が起こったときの避難方法について
3組	1班	イノシシを捕らえる!
3組	2班	地震の災害を最小限におさえるには
3組	3班	都会と田舎の災害時の違い
3組	4班	山北と地震
3組	5班	山北町で起こる災害
3組	6班	地震による被災者を減らすためには
4組	1班	南海トラフ地震が起こったら
4組	2班	地震から命を守れ!!
4組	3班	地震が起きたら
4組	4班	山北で土砂崩れが起きたらどうする!?
4組	5班	もし噴火が起きたら!?
4組	6班	地震が起きたら
5組	1班	火山はなぜ噴火するのか
5組	2班	富士山がもし噴火したら・・・
5組	3班	家の災害対策
5組	4班	富士山が噴火したら
5組	5班	地震が起きた時、助かるためにすること
5組	6班	災害後の生活

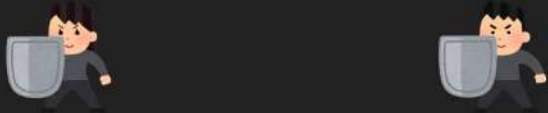
【発表の様子】



【生徒が作成したスライド】



噴火したときに出来る 対策



火山灰は、ただの灰ではなく
ガラス片や鉱物結晶片からできている



さらに火山灰は
直径2mm以下と細かく

<https://rika-net.com/outline.php?id=350460230&top=1>

目や呼吸器系に入りやすい形状をしている



健康被害を引き起こす可能性は低い



鼻・口・喉
呼吸器系・目・皮膚

などに影響を
感じる人が出てくる

降ってきたときに

目に入らないようメガネやゴーグルをかける
コンタクトレンズを外す
マスクをする
肌を隠す



まとめ

そのため
ハザードマップの確認と見直し
必要とされる



参照

イラスト参照

<https://www.irasutova.com/>

可愛いフリー素材集 いらすとや

(2022.1.24)

原稿参照

<https://yamahack.com/2440/2>

<https://www.yomiuri.co.jp/science/20210327-OV11150106/amp/>

ご清聴ありがとうございました



現在では



活火山とそれ以外の火山
にわけられている




山北町に影響を及ぼすとしたら



富士山



神奈川寄りの火口から
記録上最大の貞観噴火並の
13億立方メートルの
噴火があった場合



溶岩流が
静岡県小山町方面から
鮎沢川、酒匂川などを沿って
山北町をはじめ
南足柄市・小田原市
開成町・松田町
大井町などに
達すると予想されている

<https://images.app.goo.gl/FJG6bTMVdy1MUP8>

溶岩流は、土石流のように
猛スピードで襲って来ないが




溶岩が流れ込んだエリアでは
建物の再建などは困難となる




最も早く到達すると
想定されているのは

山北町で最短で約33時間後



とされている

33時間もあれば大丈夫じゃない？



しかし

噴火に伴う降灰や地震で



可能性がある



道路が使えなくなったり
停電する

迅速に動かなければならない



エ 成果及び評価

東日本大震災や令和元年東日本台風などの災害を経験してきた生徒であるため、1、2時間目の防災の基礎知識の授業は真剣に取り組んでいた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当初、計画していた時間よりも大幅に短縮された中で生徒は探究し、すべてのグループがプレゼンテーションまで行うことができた。地震をテーマにしたグループが多かったが、地震の起こる要因について探究したグループもあれば、田舎町と都会での災害時の対応について探究したグループもあり、地震というテーマに対して生徒が多角的に探究する姿を見ることができた。

オ 今後の課題

防災と山北町を結び付けて探究するように生徒に投げかけると、どうしてもテーマが地震、土砂災害、富士山の噴火による被害の3つ程度にしぼられてしまう。1学年は防災について深い知識まで身に付けていないため、探究テーマが似通ったものになってしまったグループが多々あった。また、探究活動の時間も4時間とかなり少なかったため、情報収集したものをプレゼンテーションのスライドにすることが限界で、実験や検証まで行うことができなかった。来年度は1学期から防災について学習する機会を確保して指導することで、生徒がより幅広くテーマを考察することができるようにしたい。

(3) プレゼンテーション

ア 概要と目的

1学年では、教員によるプレゼンテーション資料の作成方法や発表方法について学習する機会を設けた。1学期に1回、2学期1回の全2回、本校体育館においてそれぞれ2名の教員がプレゼンテーション資料を提示し、それに基づく指導を行った。

この活動を通して、総合的な探究の時間「未来探究」において、自己が抱く問題や課題を資料としてまとめ、他者に伝えていく力を養うことを目的とした。

イ 日程

第1回 令和3年6月11日(金)

第2回 令和3年11月5日(金)

ウ 対象生徒

1学年 175名

エ 活動の概要

1学期は、プレゼンテーション資料の作成方法と発表方法の2点を中心に学習をした。発表の際に使用したプレゼンテーション資料では、資料の中で画像の配置の工夫や協調したい個所の文字の色を変えることなど、例を提示しながら効果的なプレゼンテーション資料のイメージを持つことを学習した。また、発表方法についても、提示した資料を読み上げるのではなく、提示してない内容にも触れながら、聞き手が聞き取りやすい話し方や話す速度について考えることを学習した。

2学期は、プレゼンテーションにアニメーションを加えた例を提示することや文字の配置の仕方を変えるなど、1学期に学んだことを発展させたプレゼンテーション資料の作成について学んだ。また、発表方法については1学期に学習したことだけでなく、聞き手に用意してきたプレゼンテーション資料や画像に注目してもらいたい時の声かけなど、発表における細かい点も発表者は意識することを学習した。



オ 成果及び評価

2回による学習の機会から、総合的な探究の時間「未来探究」でのプレゼンテーション資料の作成や発表へのイメージを生徒自身が持つことができたと感じた。教員ごとに発表のテーマが異なったため、生徒は様々なテーマに合わせた資料や発表方法を学ぶことができた。

カ 今後の課題

プレゼンテーション資料の作成において、各教員が提示した資料を真似るのではなく、生徒自身の個性を生かした資料を作成できるように指導していきたい。また、発表の仕方についても、単に作成した資料を読むのではなく、聞き手により伝わる方法を学年全体で指導していきたい。

(4) フィールドワーク①

ア 目的

新入生として、4月に入学した新1学年に対して例年行っている“宿泊オリエンテーション”の代替として実施した。“宿泊オリエンテーション”では、山北高校に入学するにあたっての重要な規範意識、挨拶励行、基本的な生活習慣、進路についてなど幅広い事柄について、指導する。また、入学してすぐに実施することで、新入生同士の親睦を深めることも目的としている。本年度については、新型コロナウイルス感染症による影響で、宿泊を伴う活動ができなかった。そのため、文部科学省指定事業“地域魅力化型”として指定を受けている本校は、地域の魅力を学ぶために、山北町内を実際に歩く形で、オリエンテーションを実施した。地形や歴史などを学び、今後の地域課題の解決に向けた探究学習に繋げることも目的として、実施した。

イ 日時

令和3年4月15日(木)

ウ 対象生徒

1学年 175名

エ 活動の概要

河村城址歴史公園、洒水の滝、山北駅及び山北鉄道公園を訪問した。山北町の魅力を知るために、神奈川県西地域県政総合センターが作成しているモデルコースである“水緑まんぷくコース～ショートコース～”を参考に、約9キロの道のりを1日かけて歩いた。主に、立ち寄った場所は、河村城址歴史公園、洒水の滝、山北駅の3箇所である。

実際に参考にした資料である。

〈資料〉

水緑まんぷくコース

水緑まんぷくコース～ショートコース～
水、緑・・・山北町の魅力をおなな一杯召し上がれ!

アクセス
山北駅 山北駅南口
山北駅北口

山北町観光協会
http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/
山北の観光協会
http://www.yamakita.net/experience/hiking.php

歩行距離	歩行時間	所要料金
9km	2時間40分	422円
最低標高	歩数	
148m	11,769歩	

コースの魅力
【花】桜の花(2月下旬～3月中旬)、桜(4月上旬前) 【景観】緑の川・洒水の滝 【歴史】河村城址歴史公園
【水】洒水の滝(日本の滝百選・名水百選)・かながわの景勝50選・かながわ未来遺産100
【施設】山北町健康福祉センター・さくら酒

コースの概要
河村城址の平地やハイキングコースの上り坂など、ハイキングコースから歩きます。上り坂は勾配も比較的緩やかで歩きやすいです。トイレもあるのが安心です。歴史ある河村城址歴史公園や洒水の滝を通り、山北の歴史に触れ、滝の中で癒しを体験してください。森の緑に木の香、山北町の魅力がこもったコースです。洒水の滝から約立1世紀の森へ続くコースは平成10年11月開設のコースです。

山北の歴史の舞台へ
河村城址歴史公園
山北の町を一望できる、小高い丘の上にある河村城址歴史公園では空堀が出現。山北町の「森林セラピー」という取り組みの拠点にもなっており、自然を活かした体験型のイベントが行われています。

霊敏あつたかな流れ
洒水の滝
「日本の滝百選」に選ばれている名瀑、またその水は「全国名水百選」にも選ばれています。洒水とは、使役用語で洗浄を急いでそそぐ水を指すといえます。鎌倉時代の名僧が高行を積んだ地としても知られます。毎月7日(第4日曜日)におこなわれる「洒水の滝祭り」では、洒水太鼓、滝不動尊境内での火祭りが行われます。

水緑まんぷくコース～ショートコース～
ウォーキングMAP

山北鉄道公園
動くD52を保存している鉄道公園。静態保存されていた蒸気機関車D52-70号機が、平成28年に電力で動くように整備されました。周辺は桜並木の名所。毎年3月下旬～4月上旬に桜まつりが行われます。
【URL】
http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/

山北の歴史の舞台へ
河村城址歴史公園
山北の町を一望できる、小高い丘の上にある河村城址歴史公園では空堀が出現。山北町の「森林セラピー」という取り組みの拠点にもなっており、自然を活かした体験型のイベントが行われています。

霊敏あつたかな流れ
洒水の滝
「日本の滝百選」に選ばれている名瀑、またその水は「全国名水百選」にも選ばれています。洒水とは、使役用語で洗浄を急いでそそぐ水を指すといえます。鎌倉時代の名僧が高行を積んだ地としても知られます。毎月7日(第4日曜日)におこなわれる「洒水の滝祭り」では、洒水太鼓、滝不動尊境内での火祭りが行われます。

酒匂川のウォーキングマップのコースに沿って歩いた。山北高校を出発し、学校真横を流れる酒匂川、近隣にある公園などの様子を見ながら、河村城址歴史公園を目指した。



河村城址歴史公園に到着後は、班ごとに昼食を取り、その後自由時間とした。生徒たちには、自然のなかで、食事を取る心地よさや自然環境に関する様々な発見をした。中には、河村城址に関する歴史に興味を持ち、公園内に設置されている案内板を熱心に読み込む姿なども見られた。河村城址歴史公園には、当時の馬屋の跡地や防衛のための障子堀といった跡が残されており、山城としての面影が残されている。生徒たちは、障子堀を実際に目にしながら、敵としての攻めにくさや地形を生かした城作りなどに考えを巡らせている様子であった。



河村城址歴史公園での昼食と散策の後、未舗装の山道を下り、洒水の滝へと向かった。道中、田園風景などから地域産業の特性を直に見て、学ぶことができた。道端における地域の方々へのあいさつをきっかけとしたコミュニケーションにより、地域の中の山北高校を生徒たちが認識するきっかけになったと思われる。また、長い道のりで歩き疲れた中でも、お互いに声をかけるなど仲間意識も活動の中で芽生えた。



河村城址歴史公園を出発して、40分ほどで洒水の滝へと到着した。洒水の滝は、かながわの景勝50選1979年（昭和54年選定）、名水百選1985年（昭和60年選定）、日本の滝百選1990年（平成2年選定）などに指定されている名瀑であり、ここでも自由時間では自然と触れ合うことや歴史的建造物の見学をした。その後、山北駅へ出発し、山北駅前にD52機関車が置かれている鉄道公園で記念撮影を行ったあと御殿場線にて帰路へとついた。

オ 成果及び評価

今回の1学年オリエンテーションでは、単に山北町の名所を回るだけではなく、課題を設定し、実施した。ただ漫然と移動するのではなく、“歴史部門”、“自然部門”、“仲間部門”というテーマを設定し、“フォトジェニックコンテスト”という写真コンテストを学年全体で開催した。生徒たちはそれぞれのテーマに沿った写真を撮影した。各クラスの行動班のメンバーで審査を行い、班としてそれぞれの部門へ1枚ずつ写真を提出した。それをクラス全員で、投票を行い、それぞれのクラスごとに、部門賞を送るというものである。

このコンテストによって、生徒たちは常に周囲をよく観察し、歴史、自然や友情を感じ取れる場面を逃さないように意識して1日過ごしていた。そのため、独特なアングルから撮影された写真や長い歴史を感じさせるような1枚、高校入学直後とは思えないチームワークを発揮した写真など様々な魅力に生徒たちが自ら気づいていた様子であった。それぞれの部門に提出された写真の抜粋である。

<歴史部門>



<自然部門>



<仲間部門>



カ 今後の課題

4月の入学直後に、山北町内を歩き回り、豊かな自然や地元産業、観光地など様々な側面から周辺地域を知ることができた。これが、後の地域魅力型の探究学習へ繋げるための重要なステップであったと考える。生徒たちにとっても、入学後の緊張をほぐす良い機会であった。そして、学年として実施した“フォトジェニックコンテスト”にも生徒たちは積極的に参加し、教員の我々を驚かすような魅力的、独創的な記録を写真として残すことができた。今回の1学年オリエンテーションは、地域の課題について見つめなおし、地域の発展のための取組を考えるための土台づくりになった。

(5) フィールドワーク②

ア 目的

山北町の名所の1つである丹沢大山国定公園を訪問し、自然環境に触れ合うことで、地域の魅力を感じるとともに、課題を発見することを目的とする。また、集団で探索することでコミュニケーション能力を養い、協働的に学習する態度を身に付ける。

イ 日程

令和3年12月22日(水)

ウ 対象生徒

1学年174名

エ 活動内容

5名の外部講師による、地域に関する5つの分野について学習した。大自然に囲まれ、地域の魅力を体感し、主体的に学んだ。また、講師の話や自然の観察から課題を発見した。

a 西丹沢概要・地学について

河原にて、丹沢の山々がどのようにしてできたか学んだ。はるか昔、南の海から北上し本州と衝突し、さらに現在の伊豆半島の衝突により隆起して丹沢ができたことを学んだ。大昔は丹沢の山々も海だったことを聞いて、生徒はかなり驚いていた。さらに、近年で大きな地震として東日本大震災の丹沢に対する影響も学んだ。また、山北高校の横を流れる酒匂川の石と比べて白く大きい石が多いため、生徒は疑問を持ち、主体的に学習した。

b 森林生態学について

丹沢の木々を見比べながら、すでに落葉している木々は自然林であり、青々と生い茂る木々の多くが人工林であると学んだ。このように生育する木の種類が異なるのは、主に気温によるものであること、同じ地域でも標高によって気温が異なることを学んだ。さらに森林が山の動物や土壌の形成に大きくかかわり、豊かな自然を育むことを学んだ。

c 人工林について

人工林の中で、自然林とはどのような違いがあるか、人工林はどのような特徴があるかなどを学んだ。例えば、人工林は密に茂り、細くまっすぐな木々であるのに対し、自然林は太く大きな根を張り力強い木々であるなど生徒が自ら観察し、気づきを得ていた。また、効率よく育てるために日当たりの良い立地が好まれること、自然林に比べて根の張りが弱く、増水などにより災害が起きやすくなることを学んだ。

d 林業・地域産業について

山北町の産業の大きな特徴が林業である。しかし、生徒は林業がどのような産業であるか理解しておらず、木を切るだけでなく、加工していることや植樹を行うことを知って驚いていた。また、人工林の整備が土砂災害等の防止に役立っており、林業が産業としてのみならず防災としても大きな役割があることを学んだ。

e 水源・環境について

神奈川県は、相模川水系と酒匂川水系の2つの水源により県内需要の9割以上をまかなっており、丹沢湖の三保ダムは「かながわの水がめ」の1つとして大きな役割を担っていることを学んだ。森林に降り注いだ雨が最終的には水道水として広く利用されること、十分な量の水道水を確保するために森林の状態やダムの管理が重要であることを学んだ。さらに近年、台風や急な大雨が多くなり、森林や山の環境を整え、土砂崩れや洪水のような災害を防ぐ取組についても学んだ。また、生徒は堰堤を流れ落ちる様子やせせらぎの透き通る水に触れ、自然の偉大さや美しさを体感した。

f 振り返りのアンケート

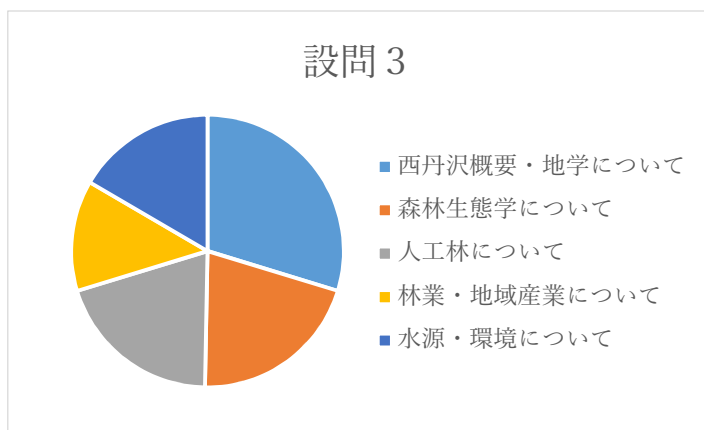
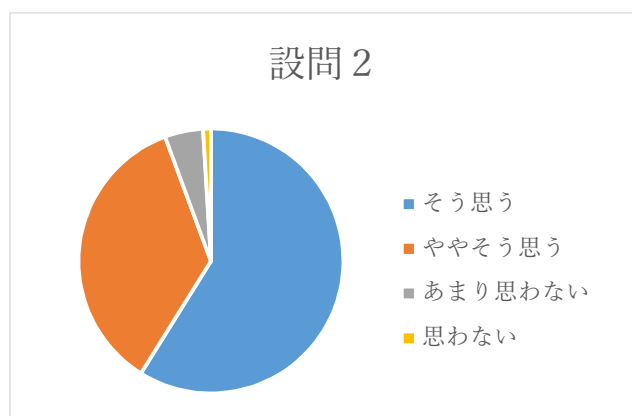
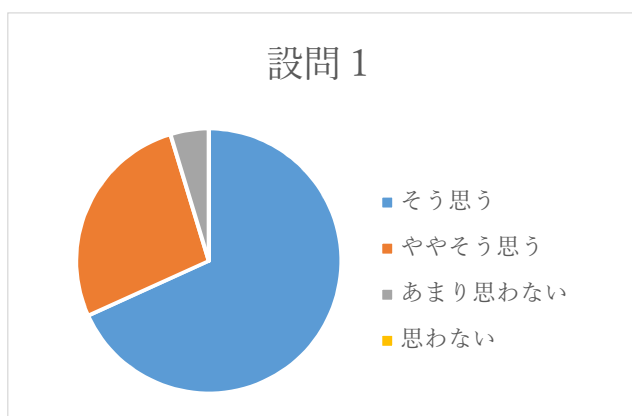
プログラム終了後、オンラインにて生徒にアンケートを行った。項目は以下のとおりである。

設問1 クラスや友人たちとの親睦を深められましたか。

設問2 山北町への自然などへの理解が深まりましたか。

設問3 ガイドさんのお話で、興味深かったのは、どのお話でしたか。

設問4 今日の校外学習で、印象に残ったこと、学んだことを入力してください。(自由記述)



設問4 自由記述（一部抜粋）

- ・ 人工林は人の手で作られていることは知っていましたが、日の当たり方まで考えて計算して作られている事は知らなかったのが、驚きました。
- ・ すごい緑が多くて新鮮だった。特に、木が高くて細くて迫力が凄かった。
- ・ 山北って自然に恵まれている所ですごく良い事がわかった。その反面近々地震などが起こるかもしれないので注意して生活しようと思った。
- ・ 地学の話の時に、丹沢湖はどうやって出来たのか、川辺に落ちている石はどういう石でどんな物なのか、などの話を聞いたのが印象に残りました。
- ・ あまり関わった事が無かった人達とも沢山話することができ、自然についても新たな知識を得ることが出来たので とても良い思い出となりました。
- ・ どのようにして森ができるのか、地域によって違う森ができるということが知れた
- ・ 水が透明で綺麗だった。色んな種類の石があつてみつまたが沢山咲いていた。
- ・ 自分は林業って何してるのだろうって思っていたけど今回の話聞いて木を切ったりするだけじゃないのだと分かり色々なことをしているのがわかりました。土砂崩れとかの守りも果たしているというのがすごいと思いました。
- ・ 人工杉でも自然の杉でも木1本1000円くらいなのがとても驚き印象に残った。
- ・ 一本一本の木が思う値段よりとても安い値段で売られていてびっくりしました、人も減っている中でみんな頑張っているんだなど、深く尊敬しました。
- ・ 木をきる人が少なくなって災難がおきやすくなってる。

【写真】当日の様子



【山北の森林】



オ 成果及び評価

今年度は昨年度まで行っていたような内容でフィールドワークを行うことはできなかった。しかし、新たな形として山北町の魅力である丹沢地域についてフィールドワークを行うことに成功した。地元の方々にガイドしていただいたため、地域の特色や自然環境について主体的に学習し、魅力を五感で感じることができた。また、その中で山北町の抱えている課題や丹沢地域の活性化に対する課題を得ることもできた。今後も生徒が自ら魅力を体感し、課題を発見できるようなフィールドワークを継続していきたい。

カ 今後の課題

今年度のフィールドワークは、今後も継続して行うことが可能なプログラムの構築を目指した。しかしながら、大人数の受け入れが可能な施設が少なく、西丹沢ビジターセンターでも恒久的にお願いするのは難しいため、来年度も新たなプログラムの構築が必要となる。また、今回は天候に恵まれたが野外でのフィールドワークは天候の影響を強く受けるため、全天候型のプログラムの構築も求められる。

(6) SDGs 講演会

ア 目的

「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に学び、SDGsの本質を理解できるようになる。

イ 日程

令和4年2月28日(月) 5、6校時(12:45~14:45)

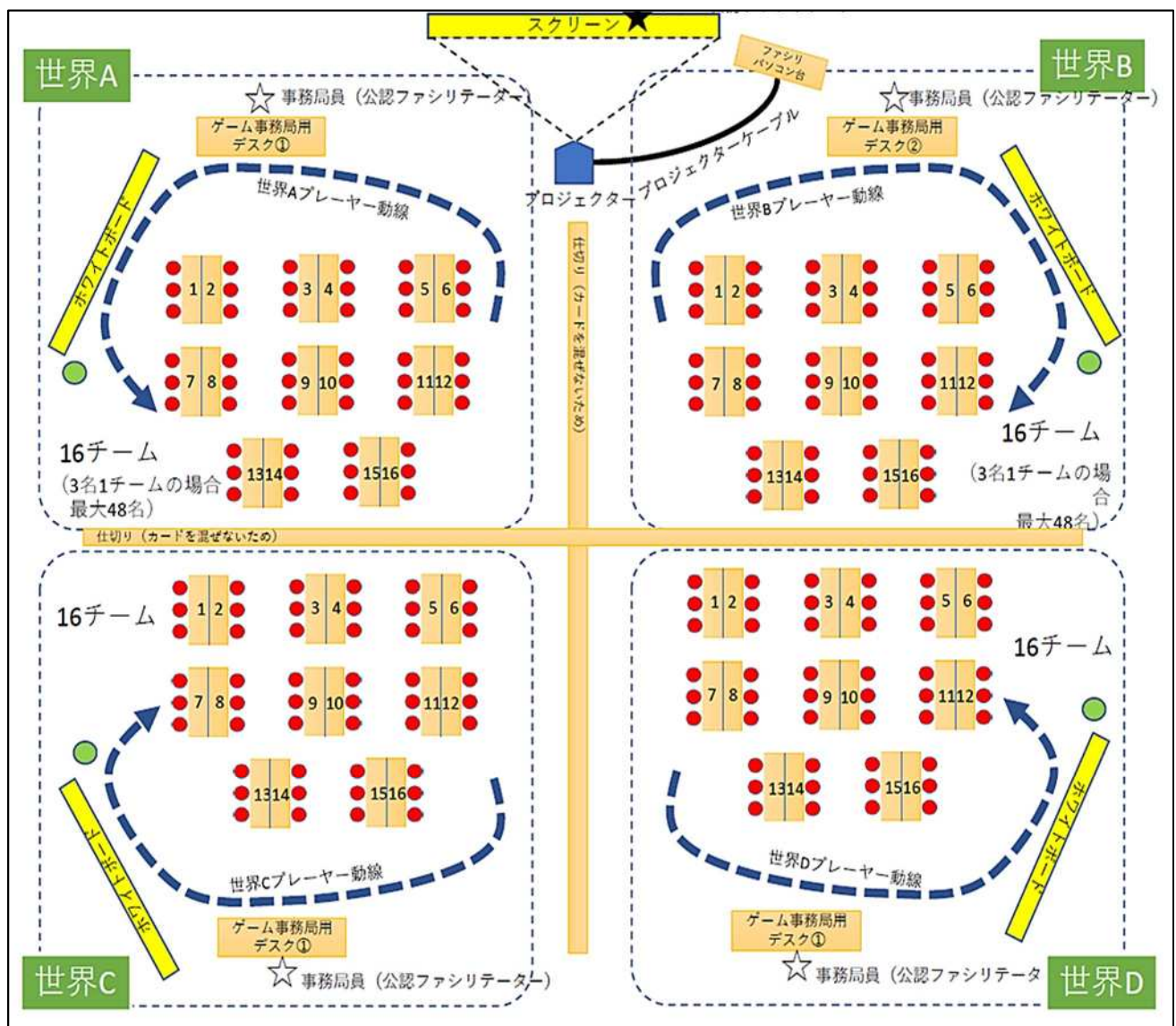
ウ 対象生徒

1学年175名

エ 活動の概要

生徒の中には未病や防災を学習していく中で必要となってくるSDGsという概念をよく理解していない者や、興味関心がない者も多かった。そこで、SDGsをカードゲームという媒体を通して生徒にSDGsについての知識や考え方を身に付けさせるために、講演会を行った。

【会場図】



生徒たちは、カードゲームの持つとっつきやすさと面白さで知らず知らずのうちに熱中し、楽しみながら SDGs の本質を理解することができた。ルールは簡単で、与えられた「お金」と「時間」を使って、プロジェクト活動を行うことで、最終的にゴールを達成するというものである。

例えば、「経済的余裕がある人が一番幸せである。」という人、「時間的余裕がある人が一番幸せである。」という人、「貧困をこの世からなくしたい。」という人といったように、生徒が現実の世界における様々な価値観を持った人間の立場に立ち、SDGs の視点から物事を多面的、多角的に考察し、SDGs の本質を理解するというものである。

オ 成果及び評価

1 学期の「未来探究」では SDGs についての知識を生徒たちに定着させるため、生徒各々が SDGs の 17 の目標の中から、1つを選択し、その目標について調べ、プレゼンテーションを行った。しかしながら、どうしても生徒の「やらされている感」を払しょくすることが出来なかった。一方、SDGs カードゲームでは、生徒が主体的かつ協働的に SDGs について考え、知識を習得することができた。

カ 今後の課題

この講演会を通して、SDGs から地域の課題を探り、自分なりのアイデアや課題を紐づけるという普段は経験できないゲームになった。これをきっかけにアクションを起こしてもらえればと考える。やりたいことがあっても、生徒一人の力ではできることに限りがあり、周りのバックアップが不可欠である。人との繋がりをゴールと見据え、挑戦する気持ちを大切にサポートできる体制作りが必要である。